

「石清水八幡宮権別当田中宗清願文案」語彙索引（自立語篇）

田中雅和*

「石清水八幡宮権別当田中宗清願文案」（『天理図書館善本叢書 古文書集』での名称）には、文体の異なる二種類の文書が存する。大江周房によって作成された和化漢文文書と、それを藤原定家が訓読した漢字仮名交り文書である。和化漢文とその訓読に関して、和化漢文に加点された訓点資料が少数のものに限られ、訓読資料も必ずしも多くない現状にあって、訓読対象となった和化漢文と訓読した人物とが共に明確な当該訓読資料は極めて貴重な存在と言える。また、和化漢文の精確な解説・訓読については、これまで多くの解決すべき課題のあることが指摘されており、未だそれらの問題が十分に解決されたとは言えない状況にある。和化漢文を精確に読解するためには、たとえば、漢語と和語との識別、和語の語形の決定、附属語等の補読の再現などを厳密に行う必要がある。当該資料の訓読の有り様が直ちに和化漢文の訓読一般に適用できるとは限らないが、少なくとも鎌倉時代における訓読の実態を知り得る資料として、前の問題を解決するための端緒を与え得る一資料として、重視されるべきである。更に、和化漢文の訓読として望ましい姿は、和化漢文の基底にある文章作成者の表現行為としての日本語文を再現することであると考えられる。本資料の訓読者である定家は、自らも『明月記』などの記録体文章を作成し、漢文の訓読活動もしており、和化漢文の作成にも漢文の訓読にも精通していた。斯かる意味でも、作成時と同時期に、作成者と極めて近い関係にある定家によって作成された訓読文を分析し、その実態や特徴を明確にすることは、広く和化漢文訓読のあるべき姿に迫るのに有効である。この語彙索引は、このような認識の上に立ちながら、定家による和化漢文訓読の実態を分析・理解するのに資することを目的とし、拙稿「対照本文」を利用して、独自の工夫を施したものである。単なる本文の語彙索引ではなく、訓読の対象となった和化漢文との関係を見るために、定家筆・漢字仮名交り文の自立語を見出し語とし、それに対応する和化漢文の漢字表記が明らかになるようにした。漢語と和語との識別、和語の語形の決定等がいかに行われたか、その実態を見るのに有用な資料たり得ることを意図して作成したものである。尚、語彙索引としては当該資料に用いられている総ての語を対象とすべきであるが、紙幅の都合によって自立語と附属語とを分け、本稿を「自立語篇」として、「附属語篇」は別稿を用意した。

キーワード：藤原定家、和化漢文、訓読、語彙索引、自立語

Key words : Teika, Fujiwara, Wakakanbun-Style, Translation, Word index, Independent word

凡例

一、この語彙索引（自立語篇）は、石清水文書に存する二種の「石清水八幡宮権別当田中宗清願文案」の内、藤原定家の手になる漢字仮名交り文に用いられている総ての自立語を、拙稿「石清水八幡宮権別当田中宗清願文案」二種（漢字仮名交り文・和化漢文）対照本文（『鎌倉時代語研究』第二十一輯 武蔵野書院）（以下、拙稿「対照本文」と称する。）の翻字本文に基づいて、収載したものである。但し、文書末尾に附載された極書の部分は対象外とした。また、本文中の203行目後半と204行目は、定家の筆跡とは異なる別筆であり、訓読されない和化漢文形式のままの加筆・挿入であるので、これも対象外とした。

藤原定家筆・漢字仮名交り文の原資料は、「石清水八幡宮権別当田中宗清願文」の資料名で天理大学附属天理図書館に所蔵されており、影印が『天理図書館善本叢書 古文書集』にある。拙稿の翻刻はこの影印に基づいたものである。

一、この語彙索引は、自立語の表記の実態を通して、藤原定家が和化漢文文書どのように訓読したかについて、その一端を知るための資料たり得ることも意図している。すなわち、和化漢文の自立語が和語と漢語とのいずれによって訓読されているかを、見出し語から確認できるように示したものである。

一、各項の記載形式は、「見出し語」・「本文の漢字表記または仮名表記」または「和化漢文の漢字表記」・「用例の所在を示す通し番号」とした。

一、見出し語は単語を原則とする。但し、接頭語・接尾語については独立した一

項として掲出し、複合語については下位要素からも検索できるように複合形と上位要素・下位要素の三種類それぞれを一項として掲出した。

字音語にサ変動詞「す」のついた所謂漢語サ変動詞は一語と扱い、複合語の扱いにできなかった。また、助動詞相当の機能を果たす「むとす」も三語に分けることはせず、一語相当の連語として扱い、助動詞篇に入れる。これらの場合「す」の項目からもそれぞれの漢語サ変動詞が参照できるようにした。「この」「その」「かの」「わが」「くだんの」などの連体修飾用法は、一語相当の連語として扱い、一項として本自立語篇に掲出した。見出しの表記は、語の切れ目に中黒点「・」を入れて示した。

漢文訓読の影響によって生じた一語相当の機能を果たす「(に)あらず」「(に)おきて」「もちて」「をはりぬ」「これすなはち」「これによりて」「しかのみならず」などは、一語相当の連語として扱い、一項として本自立語篇に掲出した。見出しの表記は、語の切れ目に中黒点「・」を入れて示した。

見出し語は、和語を歴史的仮名遣に従って平仮名で示し、字音語を字音仮名遣に従って片仮名で示した。定家による和化漢文訓読における和語と漢語との関係・使用実態を判り易くすることを意図しての処置である。

見出し語の排列は、仮名遣の表記によって、最終音節まで五十音順とした。但し、「うう(種う)」についてはワ行でなく、ア行に排列した。

見出し語には濁点を施した。個々の語詞の当該音節について、清音が濁音かの識別は決定の困難なものが少なくないが、当時の文献などを参考にして定めた。

本文が漢字表記である語の読み方については、同義の同用法で仮名表記された語が他の箇所にある場合には、それを参考にした。仮名表記例のない場合には、古辞書やその他の文献を参照した。

活用語については、終止形の例の有無に拘わらず、終止形で示した。用例の所在については、活用形ごとに区別して示し、未然形を(未)、連用形を(用)、終止形を(止)、連体形を(体)、已然形を(已)、命令形を(命)の略号で示した。見出し語には意味識別のためにその意味に当たる漢字を括弧に入れて示したが、定家の漢字交り文(拙稿「対照本文」上段)において、漢字表記になっているものはそれを優先して「」記号で括弧で示し、仮名表記になっているものは訓読の対象になった和化漢文(拙稿「対照本文」下段)の漢字を「」記号で括弧で示した。漢字仮名交り文が仮名表記で、和化漢文にその訓読の対象となる漢字がない場合、或いは意味上対応する漢字が求められない場合は、敢えて漢字を示すことはしなかった。これも、定家による和化漢

文訓読における和語と漢語との関係・表記実態を判り易くすることを意図しての処置である。

一、へ記号で括弧した漢字の字体は、拙稿「対照本文」の翻刻本文の基準に従って示した。そのために正体字と異体字とが混在した表記になっているが、詳細は拙稿「対照本文」の凡例を参照されたい。また、「」記号で括弧した和化漢文の漢字は、原則として現行の活字体によって示した。

一、へ記号で括弧した仮名は、定家筆・漢字仮名交り文本文において、字音語を仮名表記したものと、歴史的仮名遣に合わないものについて、本文の表記を示したものである。

一、用例の所在は、拙稿「対照本文」(上段・漢字仮名交り文)に施した通し番号によって示した。

一、本文で見せ消ちにされた語と重ね書きされた元字も対象にし、用例の所在番号に網掛けを施すことによって示した。

記載形式の見方

(例1) アミダ(阿弥陀)

見出し語「アミダ」が漢語であることを示す。

本文(漢字仮名交り文)での表記が漢字「阿弥陀」であることを示す。

この場合、訓読の対象となった和化漢文の表記も同じ「阿弥陀」である。

用例の所在が本文147行目であることを示す。

(例2) いへ(いゑ) [家]

見出し語「いへ」が和語であることを示す。

本文(漢字仮名交り文)での表記が「いゑ」であることを示す。

訓読の対象となった和化漢文の漢字が「家」であることを示す。

用例の所在が本文218行目であることを示す。

(例3) うやまふ [敬]

見出し語「うやまふ」が和語であることを示す。

訓読の対象となった和化漢文の「敬」表記になっている語を、

本文(漢字仮名交り文)では和語で訓み、平仮名表記であることを示す。

用例が本文では連用形で、その所在が本文34行目であることを示す。

あ

あかひとる〔贖取〕

(用) 92

あらそふ〔訴〕(名詞「あらそひ」か)

(用) 75

イツショ〔一所〕

25

あかふ〔贖〕

(用) 92

あらはす〔顕〕

(用) 234

イツツウ〔一通〕

55

あぐ〔擧〕

(用) 92

あり〔有・在〕↓cfあら・ず

(未) 31

いとなむ

31

あぐ〔上・揚〕

(用) 116

あるいは〔或〕

(止) 62

いとふ〔厭〕

229

あけち(の)シヤウ〔明知庄〕

(用) 116

アンズ〔安す〕

(止) 113

いのる〔祈・祝〕

99

あたふ〔与〕

(用) 131

アンヂす〔あんちす〕〔安置〕

(用) 108

いふ〔云〕

136

あたる〔当〕

(用) 108

アンヂす〔安置す〕

(止) 142

いふ〔云〕

227

あつ〔宛〕

(命) 226

イウシヤウす〔優賞す〕

(用) 148

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(未) 130

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(用) 28

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(未) 130

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(用) 28

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(未) 130

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(用) 28

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(未) 130

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(用) 28

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(未) 130

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(用) 28

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(未) 130

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(用) 28

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(未) 130

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(用) 28

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(未) 130

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(用) 28

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(未) 130

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(用) 28

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(未) 130

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(用) 28

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(未) 130

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(用) 28

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(未) 130

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

あつ〔宛〕

(用) 28

イカ↓イゲ〔已下〕

(未) 84

いふ〔云・謂〕↓cfいふとも・いへども

203

うつつ	(写)	(用)	55	おしりやウズ	(をしりやうず)	(押領)	(止)	37	カウキ	(綱位)	112
うとし	(疎)	(体)	31	おす	(をす)	(押)	(用)	37	ガエン	(雅縁)	248
うばふ	(むはふ)	(用)	101	おそる	(恐)		(未)	206	かかはる	(拘)	213
うまる	(生)	(用)	164	おそれいたむ			(用)	225	ガガン	(鵜眼)	127
うやまふ	(敬)	(用)	34	おとろふ	(衰)		(止)	225	かぎり	(限)	117
うれふ	(鬱)	(体)	75	おなじ	(同)		(体)	51	かぎる	(限)	265
うれへ			42	おのおの	(各)		(用)	164	カク	(客)	219
ウンメイ	(運命)		243	おのおの	(各)		5	6	かく	(懸)	155
エイシウ	(警修)		193	おのおの	(をの)	(各々・各)	21	25	かく	(書)	121
エイセンジ	↓ヤウセンジ	(永宣旨)	243	おほし			32	33	かく	(此)	263
エイタイ	(永代)		150	おほきなり	(大)		71	160	かか	(書)	215
エウ	(要)		217	おほし			195	105	かさねて	(重)	155
エウジン	(要人)		110	おほやけ	(公)		(用)	79	かざり	(飭)	114
エキ	↓ヤク	(益)	150	おほよそ	(凡)		(体)	31	かざる	(飭)	246
エコ	(依怙)		90	おもひ	(思)		(用)	188	カシヨ	(ヶ所)	253
エジキ	(衣食)		267	おもひ	(思)		207	210	かず	(員数)	65
エハツ	(衣鉢)		149	おもむ	(思)		119	177	かぜ	(風)	253
えらび	(撰)		74	おもむ	(思)		81	119	かたし	(難)	69
えらぶ	(撰・択)	(未)	156	おもむき	(趣)		(体)	51	かたじけなし		23
エン	(えん)	(縁)	104	おもむく	(趣)		141	261	かたはら	(傍)	35
エンギ	(延喜)		136	およぶ	(御山)	↓cf みやま	68	135	かつは		157
エンキン	↓ランコン	(遠近)	49	おんいましめ	(御いましめ)	(誠)	141	177	かなし	(悲)	97
エンゲン	(淵源)		85	オントク	(恩徳)		(止)	48	かなもの	(金物)	85
オウゴ	(擁護)	(用)	83	か			(体)	100	かならず	(必)	222
(に)おきて	(をきて・おきて)	(於)	30	カウコ	(江湖)		49	205	かねて	(兼)	194
おきぬふ	(補)		35	カウダウ	(強盜)		176	205	かの	(彼)	252
おく	(をく)	(置)	211	かうぶる	(被・蒙)		100	100	かへす	(返)	44
おくす	(をこす)	(発)	217				48	49	かはり	(替)	44
おこたる	(怠)		265				187	231	かへし	(返)	44
おこなひ	(をこなひ)	(行)	267				166	261	かへし	(返)	44
おこなふ	(をこなふ)	(行)	199				166	261	かへし	(返)	44
			210				166	261	かへし	(返)	44

たづぬ〔尋〕
たてまつる〔奉〕

(用) 40
(未) 168
(用) 233
(用) 238

たとひ〔縦〕

(用) 252

タニン〔他人〕

(用) 252

たのみ〔憑〕

(用) 252

たのむ〔憑〕

(用) 252

タフ〔塔〕

(用) 252

たふ〔堪〕

(用) 252

たまふ

(用) 252

ため〔為〕

(用) 252

たやすし〔輒〕

(用) 38
(命) 103
(用) 105

たより〔便〕

(用) 152

たよりなし〔無便・不便〕

(用) 152

たれ〔誰〕

(用) 152

ダンズ〔断す〕

(用) 152

タンダイ〔探題〕

(用) 152

ダンヂヨ↓ナンニヨ〔男女〕

(用) 152

チ〔地〕

(用) 152

ちかし〔近〕

(用) 152

ちから〔力〕

(用) 152

チギヤウ〔智行〕

(用) 152

ヂネンズ〔持念す〕

(用) 152

ヂヤウオウ〔貞應〕

(用) 152

チヤウジ〔停止〕

(用) 152

ヂヤウホズ〔定補す〕

(用) 152

ヂユウヂユウ〔重々〕

(用) 152

チヨウザン〔重山〕

(用) 152

チヨウジ〔重事〕

(用) 182

チヨウジヨク〔重職〕

(用) 182

チヨロク〔猪鹿〕

(用) 182

チンゴ〔鎮護〕

(用) 182

ツイゼン〔追善〕

(用) 182

ついで〔次〕

(用) 182

つき〔月〕

(用) 182

つきに〔次〕

(用) 182

つぐ〔告〕

(用) 182

つく〔就〕

(用) 182

つく〔附・付〕

(用) 182

つくのふ〔償〕

(用) 182

つくる〔作・造〕

(用) 182

つたふ〔伝〕

(用) 182

つたへしる

(用) 182

つち↓ド〔土〕

(用) 182

つしむ〔慎〕

(用) 182

つとめ〔勤勞・勤〕

(用) 182

つとめおこなひ〔つとめをこなひ〕〔勤行〕

(用) 182

つとめ〔償〕

(用) 182

つひえ〔つひえ〕〔費〕

(用) 182

つひに〔つるに〕〔遂〕

(用) 182

つむ〔積〕

(用) 182

つらなる〔列〕

(用) 182

テイコウ〔締構〕

(用) 182

テイシ↓チャウジ〔停止〕

(用) 182

テウカ〔朝家〕

(用) 182

テウキ〔朝威〕

(用) 182

デシ〔弟子〕

(用) 182

てら〔寺〕

(用) 182

てら〔てら〕〔寺〕

(用) 182

テンドク〔轉讀〕

(用) 172

テンニン〔転任〕

(用) 172

テンニンズ〔転任す〕

(用) 172

デンブ〔田父〕

(用) 172

デンエン〔田園〕

(用) 172

ド〔土〕↓ところ〔土〕

(用) 172

ド〔度〕

(用) 172

トウキフ〔等級〕

(用) 172

ドウクワ〔同科〕

(用) 172

トウリヤウ〔棟梁〕

(用) 172

とがごと〔ととか事〕〔咎〕

(用) 172

とき〔時〕

(用) 172

とぐ〔遂〕

(用) 172

ドクシ〔讀師〕

(用) 172

ところ

(用) 172

ところ〔土〕↓ド〔土〕

(用) 172

ところ〔所〕

(用) 172

とどむ〔停・駐〕

(用) 172

となふ〔唱〕

(用) 172

とのもづかさ〔御殿司〕

(用) 172

とぶらふ〔訪〕

(用) 172

トボク〔土木〕

(用) 172

ともがら〔輩〕

(用) 172

ともに〔共〕

(用) 172

とる〔取〕

(用) 172

な

な〔名〕

(用) 172

ナイゲ〔内外〕

(用) 172

なか〔中〕

(用) 172

なか〔中〕

(用) 172

ながし〔永〕
なか・ん・づく・に〔就中〕
なし〔無・莫〕

(用) 27 52 150
(未) 22 106 173
(体) 34 57 61 115 115 196 205

ニンベツ〔人別〕
ぬきいづ〔抽〕
ぬすむ〔竊〕
ねがひ↓グワン〔願〕
ねがふ〔希〕
ネン〔年〕
ネンブツ〔念佛〕
ネンラウ〔年勞〕
ネンラウ〔年らう〕〔年勞〕
ノウフ〔農夫〕
のこす〔貽〕
のこる〔遺〕
のぞみ〔望〕
のぞむ〔臨〕
のたまふ〔云〕
のち〔後〕
のり〔式〕

(止) 66 66
(用) 11 47
(体) 175 262
(用) 120

はかりこと〔計〕
はかる〔量〕
ハク〔帛〕↓きぬ
はぐ〔剥〕
ハクゲフ↓ビヤクゴフ〔白業〕
ハクワイ↓ハエ〔破壊〕
はし
ハチ〔八〕
はなちかへす
はなつ〔放〕
はばかり〔憚〕
はぶきあつ〔省宛〕
はぶく〔省〕
はやし〔早〕
ハエ〔破壊〕
バンダイ〔万代〕↓よろづよ
ハンニン↓ボンニン〔犯人〕
ヒグワン〔悲願〕
ひづめ〔蹄〕
ひとし〔人〕
ひとし〔均〕
ひとつ〔一〕
ひとへに〔一向・偏〕
ひとり〔一〕
ひとり〔一人〕
ひとり〔一人〕
ヒハフ〔非法〕
ビヤウドウ〔平等〕
ビヤクゴフ〔白業〕
ヒヤクニチ〔百日〕
ヒヤクワウ〔百王〕

(止) 66 66
(用) 11 47
(体) 175 262
(用) 120
(用) 101 101
(用) 105 212 113

なす〔成〕

(命) 33 38 195 219
(未) 194
(用) 47 158

なす

なに〔何〕

(用) 167 177

なに

ナフジユス〔納受す〕
ナフモツ〔納物〕

(用) 230

ナフジユス

なほ〔なを〕〔尚〕
なむぢ〔汝〕

35 239
80 82

なほ

ならびに

215

ならびに

なる〔成〕

(未) 165 240

なる

なんぞ〔蓋・何〕

21 124 211

なんぞ

ナンニヨ〔男女〕

142 148 149 185

ナンニヨ

ニ〔一〕

6

ニ

ニカシヨ〔二ヶ所〕

136 263

ニカシヨ

ニグ〔二求〕

10

ニグ

ニジフイチ〔廿一〕

10

ニジフイチ

ニジフゴ〔廿五〕

10

ニジフゴ

ニジフゴカシヨ〔廿五ヶ所〕
ニジフロク〔廿六・二十六〕
ニジフロクカシヨ〔廿六ヶ所〕

10 237 244 247

ニジフゴカシヨ

ニシン〔二親〕
ニネン〔二年〕
ニブ〔二分〕
ニフジ〔入寺〕
ニフジソウ〔入寺僧〕
ニブン〔二分〕
ニニイ〔任意〕
ニクワンズ〔任官す〕
ニンズ〔任す〕

10 259 10 111 269 259 10 65 66 66 70 74 65 66 66 197 129 103 72

ニシン

(未) 72

はからひさだむ〔計定〕
はからふ〔計〕

(止) 103

みゆ	(用)	143	ヤク〈益〉			
みゆき↓ギヤウカウ〈行幸〉・ゴカウ〈御幸〉			ヤクシ〈薬師〉			
みる〈見る〉	(体)	21	ヤクシダウ〈薬師堂〉			
ミロク〈弥勒〉			やはた〈八幡〉			
ミロクダウ〈弥勒堂〉		135	ややもすれば			
ミキデラ〈三井寺〉		135	ゆくさき			
ミンエン〈民烟〉		172	ゆづり〈讓〉			
ムエン〈無縁〉		183	ゆづる〈讓〉			
ムキウ〈無朽〉		131	ゆるす〈許〉			
ムキウ〈無朽〉	(用)	163				
むさぼる〈貪〉		216				
ムジヤウ〈無上〉		150				
ムジヤウボダイ〈無上菩提〉		133				
むしろ		133				
むなし〈空〉		50	ゆゑ〈ゆへ〉〔故〕			
むばふ〈奪〉	(未)	261	よ〈代〉			
メイブン〈明文〉	(用)	101	よ〈世〉			
めしとる〈召取〉		200	ヨウイス〈用意す〉			
メツす〈滅す〉	(体)	122	ヨウゴス↓オウゴス〈擁護す〉			
メンメン〈面々〉	(止)	161	ヨウド〈用途〉			
もし〈若〉		89	ヨエイ〈餘裔〉			
もち・て〈以〉		17	よし〈由〉			
もちゐる〈用〉		45	よす〈寄〉			
もと〈本〉		78	よせつく〈寄附〉			
もとも〈尤〉	(止)	133	ヨデン〈餘田〉			
もと・より〈自本〉		137	よりにて〔仍〕			
もとる〈基〉		159	よる〈依〉			
もの〈者・物〉		225				
もよほす〈もよおす〉		62				
もる〈漏〉	(用)	84				
モンゼキ〈門跡〉		225				
	(体)	229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39				
		224				
		255				
		165				
		17				
		45				
		78				
		133				
		137				
		159				
		225				
		229				
		39	</			

